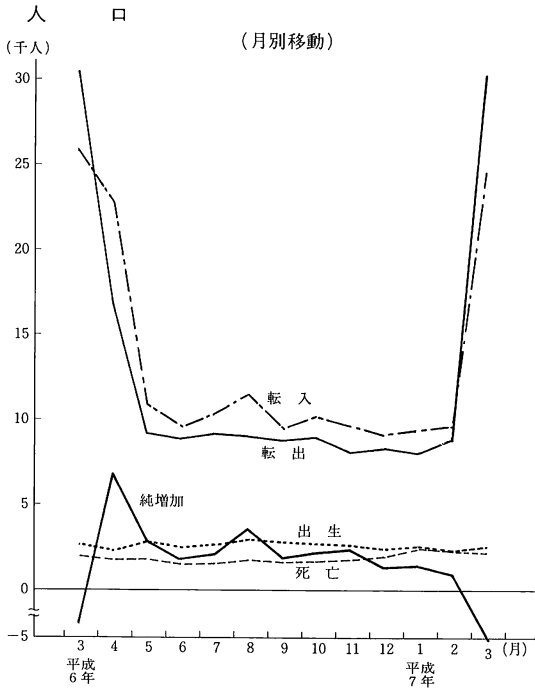
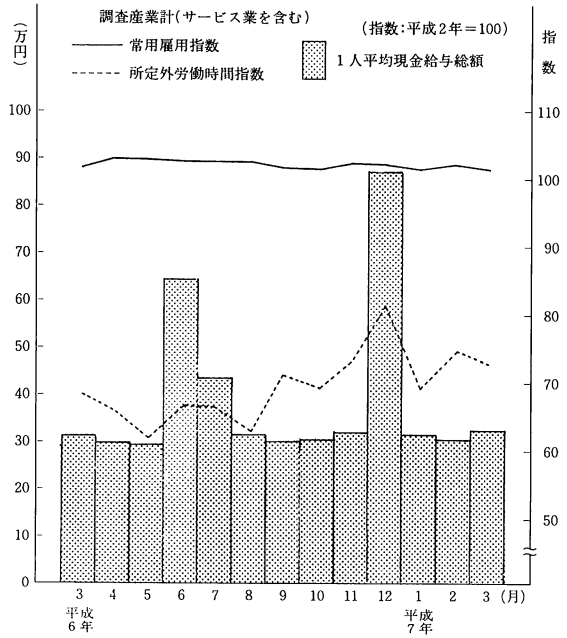


●今月の主な動き

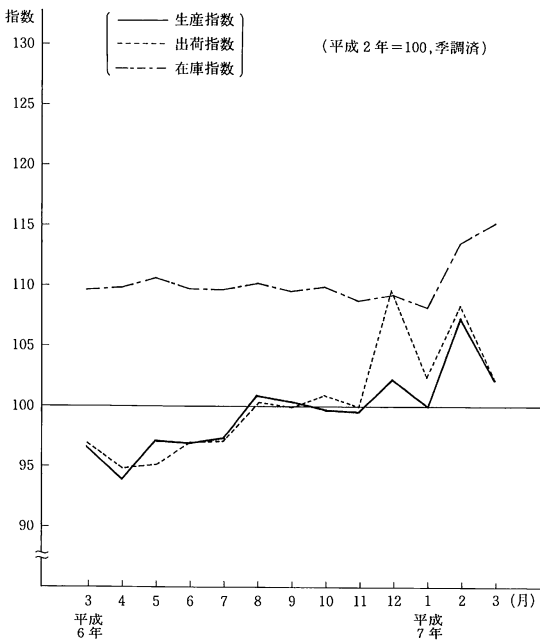
今月の主な動き



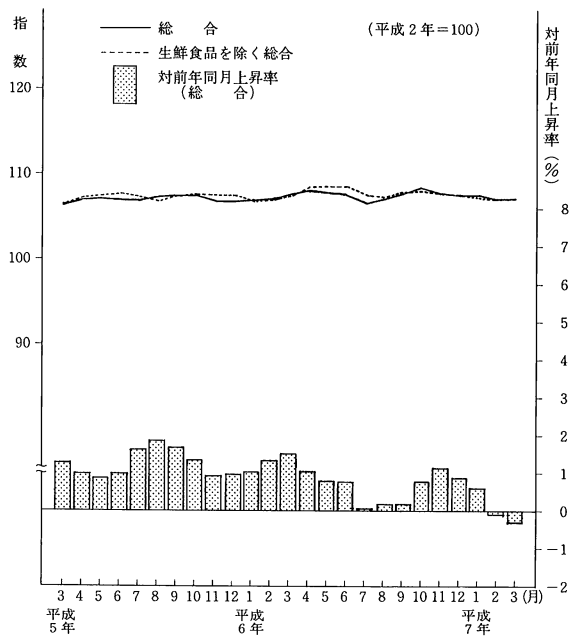
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部 統計課

■ 人 口 (4月1日)

本県の人口は、3月中に5,377人減少し、4月1日現在で、2,951,369人(男1,474,919人、女1,476,450人)となった。

内訳は、自然動態で380人(出生2,409人、死亡2,029人)増加し、社会動態で5,757人(転入24,582人、転出30,339人)減少した。前年同月と比べると20,881人(0.71%)の増

加である。

市町村別では、増加が3市25町村、減少が16市40町村、増減なしが2町村である。

世帯数についても3月中に、1,338世帯減少し916,340世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (3月)

1. 平均賃金の推移

3月の現金給与総額は、調査産業計で326,748円、対前年同月比2.8%増、このうち、きまって支給する給与は299,300円、対前年同月比0.3%増であった。また、このうち、所定内給与は270,828円、対前年同月比2.0%増であり、超過労働給与は28,472円、対前年同月比13.7%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比3.4%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

3月の総実労働時間は、調査産業計で160.2時間、対前年同月比0.6%減であった。このうち、所定内労働時間は146.0時間、対前年同月比1.1%減、所定外労働時間は、14.2時間、対前年同月比6.7%増であった。

3. 雇用の動き

3月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.3%減であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (3月)

本県における平成7年3月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が101.8、出荷が101.8、在庫が115.2で、前月比は、生産が5.3%の低下、出荷が6.0%の低下、在庫が1.4%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が5.3%の上昇、出荷が5.0%の上昇、在庫が4.9%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉄鋼業、電気機械工業、輸送機械工業等が上昇し、鉱業、一般機械工業、化学工業等が低下した。出荷では、輸送機械工業、精密機械

工業、繊維工業等が上昇し、鉱業、一般機械工業、石油・石炭製品工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、精密機械工業、繊維工業等が上昇し、鉱業、一般機械工業、石油・石炭製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産で耐久消費財、その他用生産財が上昇し、非耐久消費財、資本財等が低下した。出荷では、その他用生産財が上昇し、資本財、非耐久消費財等が低下した。在庫では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、非耐久消費財が低下した。

■ 消費者物価指数 (3月)

平成7年3月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で107.1(平成2年=100)となり、前月比0.2%の上昇、前年同月比0.4%の下落となった。

今月の上がった主な項目……衣料10.2%、油脂・調味料1.7%、魚介類1.4%、医薬品1.1%

今月の下がった主な項目……果物6.1%、野菜・海藻3.8%、教養娯楽耐久財1.8%、乳卵類1.5%

生鮮食品を除く総合は107.2となり、前月比0.4%の上昇、前年同月比ともちあいであった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	107.1	0.2	△0.4	保健医療	102.7	0.1	0.6
食料	106.7	△0.7	△2.5	交通通信	99.6	0.1	△0.1
住居	116.2	0.1	2.0	教 育	114.0	0.0	3.5
光熱・水道	102.5	0.0	0.7	教養娯楽	109.2	△0.7	△0.4
家具・家事用品	97.0	△0.4	△2.7	諸 雑 費	105.0	0.0	0.9
被服及び履物	108.3	4.7	△0.9	生鮮食品を除く総合	107.2	0.4	0.0